

平成 27 年度 通常総会議事資料

<2015 年 5 月 31 日>

<議 事>

- | | |
|--------|---|
| 1 日 時 | 平成 27 年 5 月 31 日（日） 14:50～16:50 受付開始 14:30 |
| 2 会 場 | 国際ファッションセンター 会場名：KFCホール
東京都墨田区横網1丁目6番1号 |
| 3 付議事項 | 第一号議案 平成 26 年度事業報告並びに決算及び監査報告について
第二号議案 平成 27 年度事業計画並びに予算について
第三号議案 平成 27 年度役員の選任について |

特定非営利活動法人
日本ファシリテーション協会

平成26年度事業報告

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会

平成26年度は、「より多くの会員がファシリテーションの実践者となり、それぞれの身近な現場から成果を上げていくこと」に重点を置き、相互研鑽と実践の場や支援の仕組みづくり、地域や他団体との連携強化などに取り組んだ。

調査・研究事業:事業計画に沿って定例会や例会、その他自主活動を各地で開催した。

教育・普及事業:参加者の満足度の高いセミナーを安定して提供することができた。一方、運営体制等の見直しについては、全国に渡る組織で委員数も多く、全体での委員会が持てないことから、見直し方法を示すに留まった。また、会員のネットワークを活かした教育・普及事業の方向性を検討した。

支援・助言事業:ファシリテーションの認知向上と共にファシリテーション活用支援プログラム(ファシ活)への依頼が昨年同様にあった。災害復興支援室を通じた支援活動・減災に向けた活動も継続実施した。加えて、FAJの新しい支援・助言事業の形を考える円卓会議2を実施した。

交流・親睦事業:全支部・スクエアで趣向を凝らしたイベントを開催し、FAJ内外の方々との様々な交流を図った。グローバルファシリテーション推進委員会を立ち上げ、英語によるファシリテーション学習会や、英語版FAJパンフレット作成などを行った。

運営管理:平成26年度は、役員の選出方法について、推薦者の意図がより反映しやすくなるよう手続きを変更した。また会費徴収において会員の利便性と事務局業務の効率化を兼ねた改善を行った。

以下、事業計画に沿って、事業の概要を報告する(括弧内は担当組織を表す)。

1 調査・研究事業

1) 「ファシリテーションによる社会変革の方策を探究していく」場づくりの推進(各支部運営委員、プロジェクト、シンポジウム 実行委員会)

- 社会的課題(医療・教育・政治・地域づくり)をテーマとした定例会を実施し、現場の課題解決にファシリテーションが有効であることが確認された。
- 新たに2つの(会員の専門性とファシリテーションを融合した)プロジェクト活動が開始され(TOC×ファシリテーション、アートファシリテーション)、これらを含め活動中のプロジェクトが主催した定例会が各地で実施された。
- 2014年5月に広島にて2回目のシンポジウムを開催し、研究発表の場という位置づけが会員内に定着した。

2) 「会員個々人の活動が社会への貢献につながっていく」場づくりの推進(理事会、各支部運営委員、プロジェクト)

- ファシリテーションの実践者を相互支援するための場をつくるプロジェクトが立ち上がり、活動を開始した。
- 外部との共催定例会を開催し、支部の活動範囲が広がった。

佐世だんだん工房(島根県雲南市)、東京支部行政書士会、ひろしま創発塾(広島県尾道市)、コミュニティコミュニケーション・サポートセンター(福岡県大牟田市)、大牟田市市民活動等多目的交流施設“えるる”(前同)

3) ファシリテーションの本質を研究し成長の指標とするためのF力測定に引き続き挑戦(シンポジウム実行委員会)

- 2回目の実施となった広島でのシンポジウムでは、5つのF力を測定する試みが行われた。

4) 各地域の交流の場「サロン」の活動サポート(理事会)

- 新たに「和歌山サロン」が発足し、全国8カ所で継続的に活動が行われた。

2 教育・普及事業

1) 従来の公開セミナーの活動を強化(公開セミナー委員会)

- 別記の通り、新たに釧路での開催を含め27会場・41クラスのセミナーを開催した。ただし、一部の地域で集客に苦勞する状況がみられた。また、セミナー参加者のためのアフターミーティングを東京で3回、名古屋・広島・神戸で1回開催した。関東では開催頻度や参加人数が安定し、セミナー後の「お悩み相談の場」として参加者から高い評価を得られている。反面、開催が実現していない地域もあり、今後、開催地を拡大していくかどうかの議論も必要となっている。
- 3回の講師ミーティングの開催等を通じ、講師の質のレベルアップおよびコンテンツの見直しを行った。講師トライアルは2回開催し、新たな准講師が1名誕生した。
- 委員の運営体制を見直すために、来期『全国セミナー委員代表者会議(仮称)』を開催することを決定した。

2) 新しいセミナーの検討・試行(理事会)

- 今期は、応用や実践又は対象領域等特定したセミナーの開発に着手するため、体制・方法等の検討を行ったが実施に至らなかった。

3) ファシリテーション実践者の相互支援機会の創出(理事会)

- 今年度は会員との検討機会を設けることができなかった。引き続き、実践者が繋がり、集いあう場をFAJが作ることで、会員の実践を促進し、質を向上させていくことを次年度の課題とすることを確認した。

4) 社会に求められる新たな普及機会の創出(理事会)

- 新しい普及機会として、戦略的にFAJの活動を外に向けて発信していくことを方針とした。具体的には、全国に広がる会員の活動やネットワークをととして、ファシリテーションの実践事例を体感してもらう場を提供することを検討した。

3 支援・助言事業

1) 社会からの要請に対する継続的な支援(ファシリテーション活用支援プログラム委員会)

- 依頼者のニーズを掘り起こすために、丁寧に関係者間をコーディネートした。また、広域にわたるファシ活委員が一堂に会する会議を複数回開催し、メンバーの認識のすりあわせや委員会の課題解決に向けて検討を行った。

2) 災害復興支援活動・減災に向けた活動の継続(災害復興支援室)

- 福島県南相馬市を中心とした現地支援、東日本大震災支援全国ネットワークとの協働による連携支援を中心に活動を継続した。さらに、これまでの活動で得た繋がりを活かし、広島市土砂災害における連携支援、減災に向けた静岡県での図上訓練などにも取り組んだ。
- 山形県や愛媛県において、民間支援機関と行政機関が広域避難者支援について話し合う場をサポートし、支援機関同士のネットワーク強化に寄与した。
- 昨年度作成した「専門家インタビュー記録集」を活用した読み語り会を各地で開催した。また、4年間の活動を通じて培ってきた知恵を広く発信するための「活動報告書」作成の作業を進めた。

3) 新しい支援・助言事業についての検討(理事会)

- 参加者を公募し、「円卓会議2」を開催し、試行した結果を踏まえ、多様化する社会ニーズにFAJとして応えられるような組織体制の見直しや、利用者の問い合わせをワンストップで受けられる窓口設置などの方針案を円卓会議2から理事会で受け取り、準備室の設置を決定した。

4 交流・親睦事業

1) 地域イベントを開催(各支部運営委員会、地域イベント実行委員会)

- 北海道、東京、中部、関西、中国、九州各支部および東北スクエアで地域イベントを開催した。

2) 他団体との連携強化(各支部運営委員、グローバルファシリテーション推進委員会、理事会、本部事務局)

- 国際交流室を「グローバルファシリテーション推進委員会」へ改組し、活動を開始した。IAFアジア大会inシンガ

ポールに向け FAJ 紹介パンフ英語版を作成して大会期間中配布した。日本におけるファシリテーションのグローバル化を進めるため、英語でのファシリテーションの学習会を東京と大阪で開催した。

- 関連団体(NPO、大学、研究機関、公的機関)が主催するイベントへの協力、後援が増え、他団体との連携が活性化した。(協力:OD ネットワーク・ジャパン国際大会(8月)、ODA ジャパンの国際大会(8月)、IAF 国際ファシリテーションウィーク(10月)、SoL ジャパンのアダムカヘン招聘イベント(12月)／後援:1000年に一度の災害に備える千人クロスロード(12月)、ソーシャルデザインカンファレンス 2015(3月))
- 未来教育会議の協力団体として、未来教育ワークショップとコーディネーター研修のプログラム作りに協力した。研修当日には全国から会員の参加があった。
- 昨年度に続き、北海道、北海道教育委員会、札幌市、札幌市教育委員会、札幌商工会議所、さっぽろ産業振興財団などの後援にて北海道支部イベントを開催した。

5 広報・コミュニケーション活動

1) ファシリテーション実践に役立つ情報提供(理事会、ウェブ編集委員会、ニューズレター編集委員会、本部事務局)

- 高速・安定・安価なクラウド環境にホームページ・メーリングリスト・ストレージの各サービスを移行した。
- ニューズレター編集委員会では、全ての会員が享受できるサービスとして年4回ニューズレターを発行した。特に定例会などに参加しにくい会員や定例会の参加が減っている会員を主要ターゲットに、「読んで新しいことを得た」と感じることができるものを増やすように、新しいノウハウや活動、新視点の取り組みなどを掲載する方針で発行した。その結果、従来と異なる視点の体験型記事の作成等が進んだ。
- 白書プロジェクトでは、2014年度実施したアンケート調査・実践事例調査を元に、「ファシリテーション白書2014」を発行し、ファシリテーション普及の現状と実践事例をウェブ上に掲載した。引き続き「ファシリテーション白書」の継続的発行を念頭に議論を行い、2015年度の方向性を確認した。

2) 広報プロジェクトの立ち上げ(理事会)

- FAJ 内外への広報戦略を検討するため、広報プロジェクトを立ち上げた。主に、ウェブを活用した広報の強化を目指し、会員および非会員向けコンテンツをさらに充実させる方針を決定した。

6 ミッションおよび組織運営に関わる活動

1) 中期ビジョン 2017 づくりの振り返り(理事会)

- ビジョン 2017の策定の振り返り結果から、FAJ全体のビジョンをもつ必要があると考え、ビジョン策定方法を検討した。その結果、ビジョンを「ファシリテーション」、「ファシリテーター」、「社会」、「FAJのあり方」の4つの視点で策定することにした。

2) 運営体制の拡充・強化と最適な運営方法の検討(理事会、本部事務局)

- 役員の選出方法について、理事と監事を別々に選出できるように変更し、推薦者の意図がより反映されやすいやり方を実現できた。選出方法の検討については、今後、公平性を担保するため、歴代役員経験者に委任することにした。
- 期中の予実管理方法を見直し、10月・1月の2回、事業責任者が予実管理を把握できるようにし、事業毎の管理の質を高めることができた。
- 会費徴収システムを導入し、事務の効率化、会費徴収確認の精度向上、会費支払方法の利便性向上、会費以外の支払い用務の効率化を行った。
- 会計・税務についてより良質なサービスを受けることを目的に契約書を交わし、組織運営の向上を図った。

3) 各種制度改正への対応(理事会、本部事務局)

- 認定 NPO 法人制度の改悪阻止 & 改正を求める署名賛同に協力し、協会としての意思を表明した。

I 特定非営利活動に係る事業

1. 調査・研究事業

事業内容	実施日時	実施場所	従業者数	受益対象者数	
				会員	一般
北海道支部 定例会	4月5日	札幌市 生涯学習センター ちえりあ 中研修室1	3	33	2
	5月10日	札幌市 生涯学習センター ちえりあ 中研修室1	3	35	2
	6月7日	札幌市 生涯学習センター ちえりあ 中研修室2	3	35	2
	7月5日	札幌市 生涯学習センター ちえりあ 研修室5、6	3	36	2
	8月2日	札幌市 生涯学習センター ちえりあ 中研修室1	6	23	4
	9月6日～7日	札幌市 企業合理化協会 産業技術教育訓練センター	5	8	0
	10月4日	札幌市 生涯学習センター ちえりあ 中研修室1	3	32	1
	11月1日	札幌市 生涯学習センター ちえりあ 中研修室1	3	18	0
	12月6日	札幌市 生涯学習センター ちえりあ 中研修室1	3	35	7
	1月10日	札幌市 生涯学習センター ちえりあ 研修室5、6	6	12	0
	3月7日	札幌市 生涯学習センター ちえりあ 中研修室1	3	34	4
	受益対象者延べ人数			325	
東京支部 定例会	4月26日	東京都北区 北とぴあ 第2研修室A、B	31	133	7
	5月24日	東京都葛飾区 かつしかシンフォニーヒルズ 別館ラベンダー、他	25	113	12
	6月28日	東京都大田区 入新井大集会室、大田区民センター 第2、9教室	35	97	10
	7月26日	東京都大田区 ライフコミュニティ西馬込、板橋区 ハイライフプラザいたばし他	26	105	10
	8月23日	東京都港区 芝浦工業大学芝浦キャンパス 301、304、306教室	25	104	9
	9月27日	東京都港区 芝浦工業大学芝浦キャンパス 301、303、304、306教室	30	121	3
	10月25日	東京都大田区 ライフコミュニティ西馬込、大田区民センター、大田区民会館	34	100	4
	11月22日	東京都葛飾区 かつしかシンフォニーヒルズ コンチェルト、他	26	89	18
	12月13日	東京都江東区 豊洲IHIビル 大研修室001、中研修室002、007	17	89	4
	1月24日	東京都江戸川区 タワーホール船堀303、307会議室、研修室 東京都目黒区 東京都行政書士会地下講堂	19	116	8
	3月28日	東京都港区 芝浦工業大学芝浦キャンパス 301、302、306、307教室	27	86	16
	受益対象者延べ人数			1,254	
中部支部 定例会	4月19日	名古屋市 東桜会館第2会議室、東生涯学習センター第3会議室	13	30	15
	5月17日	名古屋市 東桜会館第2会議室、東生涯学習センター第2会議室	5	37	4
	6月21日	名古屋市 長善寺、東生涯学習センター第3会議室	5	35	6
	7月19日	名古屋市 東桜会館集会室、東生涯学習センター第2集会室	5	40	5
	8月16日	名古屋市 東桜会館第2会議室、東生涯学習センター第2会議室	6	31	6
	9月20日	名古屋市 東桜会館第2会議室、講師控室、東生涯学習センター第2集会室	9	18	0
	10月18日	名古屋市 リフレクトスタジオ新栄Dスタジオ、東桜会館集会室、東生涯学習センター第2集会室	9	29	6
	12月20日	名古屋市 東桜会館第2会議室、東生涯学習センター第2集会室	5	38	16
	1月17日	名古屋市 東桜会館 第2会議室	6	45	10
	2月21日	名古屋市 東桜会館 第2会議室	4	15	0
	3月21日	名古屋市 東生涯学習センター第4集会室、東生涯学習センター第2集会室	5	11	26
	受益対象者延べ人数			423	
関西支部 定例会	4月8日	西宮市民会館	9	50	11
	5月10日	京都市 東山いきいき市民活動センター	7	46	6
	6月14日	明石市生涯学習センター	5	38	9
	7月12日	大阪市 アネックスパル法円坂	14	92	6
	8月9日	西宮市民会館	11	26	3
	9月13日	大阪市 アネックスパル法円坂	5	46	4
	10月11日	西宮市民会館、西宮市立勤労会館	12	59	10
	11月8日	大阪市 アネックスパル法円坂	7	49	5
	12月13日	西宮市立勤労会館	4	33	2
	1月10日	西宮市民会館	10	57	5
	2月14～15日	西宮市民会館、八幡市 岩清水八幡宮	10	68	2
	受益対象者延べ人数			627	
中国支部 定例会	4月19日	広島市 広島工業大学広島校舎401号室	3	15	0
	5月17日	広島市 ユーストピア中央幟会館	3	14	0
	6月21日	広島市 ユーストピア中央幟会館	3	7	1
	7月19日	広島市 ユーストピア中央幟会館	2	5	1
	8月23日	広島市 ユーストピア中央幟会館	3	9	0
	9月20日	広島市 ユーストピア中央幟会館	3	11	0
	10月18日	広島市 サテライトキャンパスひろしま	3	12	0
	11月15日	島根県雲南市 佐世だんだん工房	8	1	25
	12月20日	広島市 竹屋公民館	1	11	0
	1月18日	広島市 ベンストンホール	3	16	13
	2月15日	尾道市 ゲストハウス ヤドカーリ	4	0	23
	2月21日	広島市 広島工業大学広島校舎301号室	3	11	0
	3月21日	広島市 ベンストンホール	3	11	0
	受益対象者延べ人数			186	
九州支部 定例会	4月5日	福岡市 オクタービル4階会議室、深見ビルB会議室	3	31	2
	5月10日	福岡市 オクタービル4階会議室、深見ビルB会議室	4	26	5
	6月7日	福岡市 深見ビル B・C会議室	3	24	6
	7月5日	春日市 クローバープラザセミナールームAB	3	22	2
	8月2日	福岡市 深見ビル A・C会議室	7	18	0
	9月6日	福岡市 深見ビル A・C会議室	7	18	1
	10月4日	春日市 クローバープラザ 501研修室	1	27	3
	11月1日	福岡市 福岡商工会議所ビル 404・405会議室	1	21	4
	1月10日	春日市 クローバープラザセミナールームAB	2	22	0
	2月7日	大牟田市 市民活動等多目的交流施設「えるる」中研修室、小研	7	13	18
	受益対象者延べ人数			263	

事業内容	実施日時	実施場所	従業者 数	受益対象者数	
				会員	一般
東北スクエア 例会	4月12日	仙台市 エルパーク仙台 セミナーホール2	3	25	10
	5月10日	仙台市民会館 第4会議室	3	19	2
	6月14日	仙台市 戦災復興記念館 5階会議室	3	11	0
	7月12日	仙台市 日立システムズホール仙台 研修室2	3	19	3
	8月9日	仙台市 エルパーク仙台 セミナーホール1	2	14	1
	9月13日	仙台市 日立システムズホール仙台 研修室2	3	10	4
	10月11日	仙台市民会館 第6会議室	3	10	6
	11月8日	仙台市 日立システムズホール仙台 研修室2	3	15	7
	12月13日	仙台市情報・産業プラザ セミナールーム(2)A	4	8	13
	1月10日	仙台市民会館 第4会議室	3	19	6
	2月7日	仙台市 日立システムズホール仙台 エッグホール	4	15	7
	2月14日	仙台市 日立システムズホール仙台 研修室2	3	18	14
			受益対象者延べ人数		256
シンポジウム	5月31日～6月1日	広島県広島市 広島国際会議場	26	183	0
			受益対象者延べ人数		183
NLP ファシリテーション 研究会	5月16日	東京都中央区 新川区民館	1	10	1
	6月16日	東京都中央区 月島区民館	1	3	0
	7月25日	東京都中央区 新川区民館	1	3	0
	8月12日	東京都中央区 新川区民館	1	5	0
	9月9日	東京都中央区 新川区民館	1	4	0
	9月23日	東京都中央区 人形町区民館	1	4	0
	10月9日	東京都中央区 人形町区民館	1	3	0
	10月17日	東京都中央区 勝どき区民館	1	5	0
	11月27日	東京都中央区 勝どき区民館	1	2	0
			受益対象者延べ人数		40
ビデオカメラ活用	4月23日	東京都渋谷区 FAJ東京事務所	1	8	0
	5月9日	東京都渋谷区 FAJ東京事務所	1	5	0
	5月29日	東京都渋谷区 FAJ東京事務所	1	5	0
	6月23日	東京都豊島区 横河工事株式会社社会議室	1	6	0
	10月10日	東京都豊島区 横河工事株式会社社会議室	1	5	0
	11月14日	東京都港区 スカイライトコンサルティング株式会社社会議室	1	10	0
			受益対象者延べ人数		39
ファシリテーション 演劇	4月20日	東京都 大田区民センター	1	5	2
	7月27日	東京都 武蔵野市かたらいの道市民スペース	1	5	0
	8月16日	東京都 港区赤坂区民センター	1	5	1
	9月23日	東京都 立川市市民会館	1	4	1
	10月18日	東京都 立川市市民会館	1	5	1
	11月8日	東京都新宿区 貸し会議室	1	6	1
	12月7日	東京都 立川市市民会館	1	5	1
	1月4日	東京都 立川市市民会館	1	5	1
	2月13日	東京都新宿区 貸し会議室	1	4	1
	3月14日	東京都 武蔵野市御殿山コミュニティセンター	1	4	1
			受益対象者延べ人数		58
アートファシリテー ション	6月25日	東京都渋谷区 FAJ東京事務所	1	5	0
	7月23日	東京都港区男女共同参画センター	1	5	0
	8月12日	東京都世田谷区 下北沢シェアオフィス	1	5	0
	8月24日	東京都港区男女共同参画センター	5	7	5
	9月12日	東京都世田谷区 下北沢シェアオフィス	1	6	0
	10月17日	東京都世田谷区 下北沢シェアオフィス	1	4	0
	11月14日	東京都世田谷区 下北沢シェアオフィス	1	5	0
	12月3日	東京都世田谷区 下北沢シェアオフィス	1	5	0
	1月21日	東京都世田谷区 下北沢シェアオフィス	1	5	0
	2月2日	東京都世田谷区 下北沢シェアオフィス	1	4	0
	3月8日	港区男女共同参画センター	1	6	15
	3月18日	東京都世田谷区 下北沢シェアオフィス	1	4	0
	3月24日	東京都世田谷区 下北沢シェアオフィス	1	4	0
			受益対象者延べ人数		85
TOC×ファシリ テーション	10月5日	WEB会議	1	7	1
	10月19日	WEB会議	1	7	1
	10月22日	神奈川県横浜市 かながわボランティアセンター	1	3	0
	11月9日	WEB会議	1	6	1
	11月20日	東京都港区 PROCESS Laboratory サロン	1	4	1
	11月23日	WEB会議	1	6	1
	12月7日	WEB会議	1	6	1
	1月11日	WEB会議	1	5	1
	1月31日	WEB会議	1	3	1
	2月7～8日	愛知県名古屋 イーブル名古屋第2集会室	1	6	1
	2月15日	WEB会議	1	5	1
	2月23日	WEB会議	1	6	0
	3月8日	WEB会議	1	6	0
	3月15日	WEB会議	1	5	0
	3月22日	WEB会議	1	5	0
			受益対象者延べ人数		90
サロンサポート	—	8カ所(秋田・埼玉・新潟・富山・和歌山・岡山・四国・沖縄)	—	—	—
			受益対象者延べ人数		0

2. 教育・普及事業

事業内容	実施日時	実施場所	従業者数	受益対象者数	
				会員	一般
公開セミナー	4月19日	京都府 京都府中小企業会館	10	18	8
	4月19日	新潟県 市民万代会館	3	3	7
	5月17日	東京都 機械振興会館	17	27	33
	6月7日	沖縄県 沖縄産業支援センター	3	8	12
	6月21日	福岡県 福岡ビル9階貸ホール	3	8	12
	6月28日	愛知県名古屋市 ABC貸会議室	4	9	11
	7月19日	宮城県仙台市 日立システムズホール仙台	4	11	9
	7月26日	大阪府大阪市 大阪府立労働センター(エル・大阪)	6	4	15
	7月19日	東京都港区 麻布台セミナーハウス	13	20	36
	9月20日	東京都港区 麻布台セミナーハウス	16	21	37
	10月4日	愛知県名古屋市 ABC貸会議室	5	7	3
	10月25日	福岡県 交通センター	4	6	14
	11月8日	松山県松山市 市民会館	3	2	6
	10月18日	札幌市 産業振興センター	5	1	3
	11月29日	大阪府 大阪産業創造館	12	10	29
	11月15日	北海道 釧路市生涯学習センター まなぼっと	5	2	13
	11月15日	東京都港区 麻布台セミナーハウス	12	25	33
	1月17日	東京都港区 麻布台セミナーハウス	16	7	50
	1月31日	兵庫県 神戸センタープラザ西館	11	4	16
	2月7日	広島県 ベンストンホール	5	11	9
	2月7日	沖縄県 沖縄産業支援センター	4	5	7
	2月21日	岡山県 きらめきプラザ	4	8	5
	2月28日	宮城県仙台市 仙台市民会館	4	8	12
	3月7日	愛知県名古屋市 ABC貸会議室	4	11	8
	3月14日	福岡県 福岡ビル	4	11	9
	3月14日	札幌市 産業振興センター	5	12	6
	3月21日	東京都港区 麻布台セミナーハウス	15	23	37
			受益対象者延べ人数		722

3. 支援・助言事業

事業内容	実施日時	実施場所・実施内容	従業者数	受益対象者数	
				会員	一般
円卓会議2	9月28日	東京都渋谷区 FAJ東京事務所	10	0	-
	10月26日	東京都渋谷区 FAJ東京事務所	9	0	-
	11月24日	東京都港区立男女平等参画センター	9	0	-
	12月6日	WEB会議	4	0	-
	12月6日	WEB会議	5	0	-
	12月15日	WEB会議	7	0	-
	12月23日	東京都渋谷区 FAJ東京事務所	10	0	-
	12月28日	東京都渋谷区 FAJ東京事務所	9	0	-
	1月26日	WEB会議	6	0	-
	2月2日	WEB会議	8	0	-
	2月11日	東京都渋谷区 FAJ東京事務所	9	0	-
	2月22日	東京都渋谷区 FAJ東京事務所	8	0	-
	3月29日	千葉県成田市 公津の杜コミュニティセンター	3	0	19
			受益対象者延べ人数		19
ファシリテーション活用支援プログラム	4月17日	山梨県立中央病院 総合周産期母子医療センター 新生児科 ファシリテーション基礎 勉強会	1	0	32
	10月1日	東京都立産業技術高等専門学校 授業に活かすファシリテーション	5	0	13
	10月11日	東京都 武蔵野赤十字病院看護部 ファシリテーションの基礎について	3	2	25
	11月5日	福島県安達地区保健師連絡会 「安達地区保健師連絡会研修会」	2	0	16
	12月15日	神奈川県 社会福祉法人神奈川県社旗福祉協議会 かながわ福祉人材研修センター、福祉研修センター平成26年度ファシリテーション基礎研修	4	2	66
	1月16日	広島県 広島保護観察所社会復帰調査官室 ケア会議を進行するためのファシリテーション基礎講座	3	0	24
	2月6日	神奈川県 いそご区民活動支援センター ファシリテーション・スキル入門<意見を引き出し 活動を活性化させよう！>研修	3	0	17
	2月18～19日	岩手県久慈市政策推進課 復興まちづくりファシリテーター養成講座	3	0	30
	2月27日	滋賀県大津市教育委員会 公民館を支える応援隊養成講座	1	0	50
	3月1日	WEB会議 東京工業大学社会理工学研究科価値システム専攻 坂野研究室 Web会議システムを使った高レベル放射性廃棄物処分方法に関する討議型世論調査	16	0	108
	1月31日、2月7、14、28日、3月7日	東京都小平市上水南公民館：ファシリテーション入門講座 <意見が活性になる話し合いの進め方>計5回	4	0	88
	3月21日	静岡県社会福祉士会 西部地区活動委員会 福祉の現場で活かせるファシリテーション講座	3	0	19
			受益対象者延べ人数		492
災害復興支援室	4月5日	愛知県名古屋市(オフィスパーク名駅)「JCN広域避難者支援ミーティングin東海」実施支援	2	0	23
	6月16日	福島県南相馬市(カメイビル)「騎馬武者ロックフェス実行委員会」実施支援	2	0	9
	6月17日他全7回	福島県南相馬市(南相馬市市民活動サポートセンター)「ファシリテーター研修」実施	19	0	52
	8月12日	東京都渋谷区(山羊に、聞く?)「Peace On Earth ダイアログ勉強会『今、福島そして南相馬で生きること』」実施支援	2	0	30
	8月22日	広島県広島市(ムーヴイン・オン)「読み語り会×専門家インタビュー記録」実施	1	3	0
	8月23日	福島県福島市(うつくしまふくしま未来支援センター)「ファシリテーション技術・クリティカルシンキング講座」実施	1	0	30
	8月29日	岩手県北上市(プランニョーキタカミ)「ICN現地会議in岩手」実施支援	3	0	84

事業内容	実施日時	実施場所・実施内容	従業者数	受益対象者数	
				会員	一般
災害復興支援室	9月22日	東京都千代田区(弁護士会館)「復興まちづくりにおける住民合意形成とファシリテータの役割に関する意見交換会」実施	5	0	14
	10月6日	愛媛県松山市(愛媛県総合社会福祉会館)「こころのケア拠点づくり事業研修会」実施支援	3	0	100
	10月29日	宮城県気仙沼市(気仙沼市役所)「JCN現地会議in宮城」実施支援	3	0	62
	10月30日	山形県山形市(村山総合支庁)「やまがた避難者支援協働ネットワーク意見交換会」実施支援	9	0	55
	11月17日	福島県いわき市(いわき産業創造館)「JCN現地会議in福島」実施支援	3	0	89
	11月20日	宮城県気仙沼市(大谷公民館)「大谷里海づくり検討委員会」実施支援	2	0	15
	12月11～12日	東京都江東区(有明の丘基幹的広域防災拠点施設)「首都直下地震時の災害ボランティア活動連携訓練」実施支援	3	0	160
	12月18～19日	広島県広島市(湯来町交流センター)「広島市土砂災害支援活動を行う団体の情報交換会」実施支援	2	0	9
	12月20日	福島県南相馬市(南相馬市市民情報交流センター)「ファシリテーション講座」実施支援	2	0	30
	2月6日	福島県南相馬市(南相馬市市民情報交流センター)「JCN現地会議in福島」実施支援	4	0	66
	2月25日	福島県南相馬市(だいこんや)「南相馬ダイアログ」実施支援	2	0	20
	2月27日	宮城県岩沼市(岩沼市市民会館)「JCN現地会議in宮城」実施支援	3	0	66
	3月2日	東京都台東区(浅草観光文化センター)「情報発信・販路拡大の為にプレストワークショップ」実施支援	9	9	18
	3月4日	愛媛県松山市(大和屋本店)「曹洞宗青年会全国大会」実施支援	2	0	100
	3月6日	岩手県大船渡市(大船渡市民文化会館)「JCN現地会議in岩手」実施	2	0	0
	3月7日	秋田県秋田市(秋田県青少年交流センター)「読み語り会×専門家インタビュー記録」実施	1	2	2
	3月7～8日	静岡県静岡市(静岡市民文化会館)「静岡県内外の災害ボランティアによる救援活動のための図上訓練」参加	2	1	350
	3月21日	宮城県仙台市(仙台市民会館)「東北スクエアイベント内セッション「復興とファシリテーション」」実施	3	6	11
	3月27～29日	岩手県大船渡市、宮城県石巻市、福島県福島市「ラーニング・コミュニティ・ネットワーク」実施	6	0	14
受益対象者延べ人数					1,430

4. 交流・親睦事業

事業内容	実施日時	実施場所・実施内容	従業者 数	受益対象者数	
				会員	一般
グローバル ファシリテーション 推進委員会	8月 日他全 回	WEB会議:FAJ英文パンフレット作成	5	-	-
	2月14日	東京都千代田区 慶應丸の内シティキャンパス 英語でファシリ テーション学習会	5	5	10
	2月21日	大阪市北区 グランドフロント大阪 英語でファシリテーション学習会	5	10	10
	3月14日	東京都千代田区 慶應丸の内シティキャンパス 英語でファシリ テーション学習会	5	5	10
	3月21日	大阪市北区 グランドフロント大阪 英語でファシリテーション学習会	5	10	10
	受益対象者延べ人数 70				
地域イベント	4月13日	広島県 福山市市民参画センター	4	2	27
	11月15日	愛知県 名古屋国際センター	42	52	62
	11月30日	広島県 福山市市民参画センター	12	9	4
	12月6日	福岡県 博多バスターミナル	10	41	12
	2月7日	北海道 ACU(アキュ)	20	43	50
	2月28日	東京都 国際ファッションセンター	47	116	99
	3月7日	鹿児島県 かごしま県民交流センター	5	3	20
	3月14日	大阪府 アネックスパル法円坂	15	115	101
	3月21日	宮城県 仙台市民会館	10	32	25
	受益対象者延べ人数 813				
共催・後援イベント	11月15日	島根県雲南市 共催:佐世だんだん工房	1. 調査・研究事業 中国支部参照		
	1月24日	江戸川区 共催:東京行政書士会	1. 調査・研究事業 東京支部参照		
	2月7日	大牟田市 共催:コミュニティコミュニケーション・サポートセンター	1. 調査・研究事業 九州支部参照		
	2月7日	大牟田市 共催:大牟田市市民活動等多目的交流施設「えるる」	1. 調査・研究事業 九州支部参照		
	2月15日	尾道市 共催:ひろしま創発塾	1. 調査・研究事業 中国支部参照		
	未来教育会議「未来の社会、未来の人、未来の教育のあり方を多様なマルチステークホルダーで共に考え、 共に豊かな現実を創造していくためのプロジェクト」実施協力(東京都内)				
	6月12日	東京都港区博報堂会議室	8	0	2
	6月21日	東京都港区博報堂会議室	7	0	2
	6月26日	東京都港区博報堂会議室	4	0	0
	7月5日	東京都渋谷区FAJ東京事務所	4	11	0
	7月8日	東京都港区博報堂会議室	5	0	3
	7月12日	東京都目黒区東京大学駒場キャンパス	2	0	25
	7月24日	東京都目黒区東京大学駒場キャンパス	2	0	11
	7月25日	東京都目黒区東京大学駒場キャンパス	2	0	11
	8月3日	東京都目黒区東京大学駒場キャンパス	2	0	24
	8月27～29日	京都市 ODネットワークジャパン「ODA-Japan 世界大会」参加者 募集協力	不特定多数		
	8月30～31日	東京都豊島区 ODネットワークジャパン「ODN-Japan 国際大会」同上	不特定多数		
	10月20～26日	東京都各所 IAFJapan「国際ファシリテーションウィーク」会員内へ の広報協力	不特定多数		
	11月3日	東京都港区 SoLジャパン「アダム・カヘン氏来日イベント」参加者募集協力	不特定多数		
	12月23日	兵庫県神戸市 他全9会場 千人クロスロード実行委員会「1000年 に一度の災害に備える千人クロスロード」後援	不特定多数		
	3月21日	大阪府大阪市 大阪デザイン振興プラザ「ソーシャルデザインカン ファレンス2015」後援	不特定多数		
受益対象者延べ人数 89以上					

5. その他の総合的な事業

事業内容	実施日時	実施場所	従業者数	受益対象者数	
				会員	一般
ニューズレター	年4回	東京都渋谷区 FAJ東京事務所、他全国	29	1,800	
ウェブサイト	随時	東京都渋谷区 FAJ東京事務所、他全国	14	不特定多数	
メーリングリスト 掲示板	随時	東京都渋谷区 FAJ東京事務所、他全国	14	1,800	

6. 理事会

事業内容	実施日時	実施場所	従業者数	受益対象者数	
				会員	一般
通常総会	6月1日	広島県広島市 広島国際会議場	107	-	-
理事会	4月13日	東京都渋谷区 FAJ 東京事務所	17	-	-
	5月18日	東京都渋谷区 FAJ 東京事務所	16	-	-
	6月1日	広島県広島市 広島国際会議場	11	-	-
	7月13日	東京都渋谷区 FAJ 東京事務所	13	-	-
	8月9～10日	大阪府大阪市 ホテルウイングインターナショナル新大阪	12	-	-
	8月30日	東京都渋谷区 FAJ 東京事務所	10	-	-
	8月31日	東京都豊島区 横河工事株式会社社会議室	17	-	-
	10月12日	兵庫県西宮市 西宮市民会館	12	-	-
	11月2日	東京都渋谷区 FAJ 東京事務所	14	-	-
	12月21日	愛知県名古屋市 名古屋プラス	13	-	-
	1月31日	東京都渋谷区 FAJ 東京事務所	15	-	-
	2月1日	東京都豊島区 横河工事株式会社社会議室	23	-	-
	2月15日	宮城県仙台市 仙台市青年文化センター	11	-	-
	3月22日	東京都渋谷区 FAJ 東京事務所	15	-	-

II その他の事業

実施なかった。

ご寄附、ありがとうございました

会計収支報告書にもごさいます通り、H26年度は、災害復興支援室の活動に対して、多くの方から寄附金をお預かりしました。この場をお借りして、御礼申し上げます。

また寄附金は災害復興支援室の活動に充当させていただいたことをご報告します。

ご寄附いただいた方々(日付順)

ファシリテーションシンポジウム参加者有志の皆様(6月)、ミステリーツアー参加者有志の皆様(6月)・関西支部有志の皆様(8月)、役員有志の皆様(9月)、北海道支部合宿参加者有志の皆様(9月)、役員・OB「明日を語る会」参加者有志の皆様(12月)、関西支部有志の皆様(12月)

平成26年度「特定非営利活動に係る事業」会計収支報告書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会

科 目	金 額 (単位:円)		
(資金収支の部)			
I 経常収入の部			
1 会費・入会金収入			
個人会費	16,420,000		
法人会費	100,000	16,520,000	
2 事業収入			
調査・研究事業収入	1,125,000		
調査・研究事業収入(スクエア)	131,000		
教育・普及事業収入	14,223,300		
支援・助言事業収入	1,257,905		
交流・親睦事業収入	2,402,900	19,140,105	
3 寄付金収入			
個人寄付金	24,043		
法人寄付金	0	24,043	
経常収入合計			35,684,148
II 経常支出の部			
1 事業費			
調査・研究事業費	6,644,966		
調査・研究事業費(スクエア)	181,961		
教育・普及事業費	8,981,388		
支援・助言事業費	2,622,554		
交流・親睦事業費	3,793,090	22,223,959	
2 管理費			
広 報 費	416,812		
交通宿泊費	5,669,837		
謝 礼 等	0		
会 議 費	157,672		
事務消耗品費	74,080		
雑 費	959,028		
資料印刷費	1,130,031		
総会関係費用	664,085		
諸 会 費	40,000		
外部委託料	1,098,714		
支払手数料	313,771		
租税公課	297,900		
賃 借 料	858,540	11,680,470	
経常支出合計			33,904,429
経常収支差額			1,779,719
III その他資金収入の部			
その他資金収入合計	19,700	19,700	19,700
IV その他資金支出の部			
その他資金支出合計			0
当期収支差額			1,799,419
前期繰越収支差額			25,298,025
次期繰越収支差額			27,097,444

科 目	予算	H26年度計	予算差異	予算比	特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会 決算内訳											
					事務局	北海道	東京	中部	関西	中国	九州	東北	円卓2	シンポジウム	セミナー	復興支援
(資金収支の部)																
I 経常収入の部																
1 会費・入金収入																
個人会費	18,000,000	16,310,000	1,690,000	90.61%	16,310,000											
個人会費〔学生〕	150,000	110,000	40,000	73.33%	110,000											
法人会費	300,000	100,000	200,000	33.33%	100,000											
	18,450,000	16,520,000	1,930,000	89.54%												
2 事業収入																
調査・研究事業収入	1,290,000	1,256,000	34,000	97.36%										1,122,000		
教育・普及事業収入	11,849,250	14,223,300	-2,374,050	120.04%					3,000			131,000			14,223,000	
支援・助言事業収入	800,000	1,257,905	-457,905	157.24%									300,000			957,905
交流・親睦事業収入	2,315,000	2,402,900	-87,900	103.80%						4,900	222,500	114,500				
	16,254,250	19,140,105	-2,885,855	117.75%		307,500	782,500	152,000	819,000							
3 寄付金収入																
個人寄付金	10,000	24,043	-14,043	240.43%											24,043	
法人寄付金																
	10,000	24,043	-14,043	240.43%	16,520,000	307,500	782,500	152,000	822,000	4,900	222,500	245,500	300,000	1,122,000	14,247,043	957,905
当期収入合計	34,714,250	35,684,148	-969,898	102.79%												
II 経常支出の部																
1 事業費																
調査・研究事業費						北海道	東京	中部	関西	中国	九州	東北	サロン	シンポジウム	プロジェクト	実践PJ
会場使用料	4,491,560	3,148,774	1,342,786	70.10%		162,840	822,265	143,660	357,359	133,480	339,300	126,790	26,640	1,036,440	0	0
事務消耗品費	439,100	430,436	8,664	98.03%		5,534	169,030	9,933	129,656	13,579	30,006	14,091	4,967	47,603	6,037	0
交通宿泊費	2,490,000	1,752,500	737,500	70.38%		352,076	354,268	283,160	177,896	177,440	118,120	23,520	187,020	49,000	30,000	0
謝礼等	1,082,742	709,094	373,648	65.49%		109,685	155,685	255,724	138,000	0	50,000	0	0	0	0	0
印刷費	193,100	218,619	-25,519	113.22%		2,880	64,597	17,195	55,169	12,210	6,014	4,760	0	55,744	50	0
会議費	570,500	435,423	135,077	76.32%		0	291,043	41,900	27,970	13,220	40,160	3,200	0	12,530	5,400	0
雑費	112,500	94,401	18,099	83.91%		1,952	18,830	0	29,310	1,000	4,310	9,600	1,871	27,528	0	0
予備費	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
研究開発費	450,000	37,680	412,320	8.37%		0	0	0	0	0	0	0	0	0	37,680	0
	9,829,502	6,826,927	3,002,575	69.45%		634,967	1,875,718	751,572	915,360	350,929	587,910	181,961	220,498	1,228,845	79,167	0
教育・普及事業費																
会場使用料	1,378,140	1,939,211	-561,071	140.71%											1,939,211	
事務消耗費	211,150	125,692	85,458	59.53%											125,692	
交通宿泊費	2,316,740	2,237,718	79,022	96.59%											2,237,718	
謝礼等	4,129,637	3,853,408	276,229	93.31%											3,853,408	
印刷費	563,925	518,745	45,180	91.99%											518,745	
会議費	315,180	240,025	75,155	76.15%											240,025	
雑費	84,000	66,589	17,411	79.27%											66,589	
研究開発費																
	8,998,772	8,981,388	17,384	99.81%												
支援・助言事業費																
会場使用料	50,000	43,510	6,490	87.02%										0	8,981,388	
事務消耗費	5,000	10,722	-5,722	214.44%										円卓2	ファン活	復興支援
交通宿泊費	2,600,000	2,502,244	97,756	96.24%										197,400	571,248	11,000
謝礼等																10,722
印刷費		8,830	-8,830													8,830
会議費	70,000	55,944	14,056	79.92%										950	8,640	46,354
雑費	5,000	1,304	3,696	26.08%											108	1,196
	2,730,000	2,622,554	107,446	96.06%										198,350	612,506	1,811,698
交流・親睦事業費						北海道	東京	中部	関西	中国	九州	東北				
会場使用料	1,796,980	1,628,763	168,217	90.64%		226,250	592,833	470,000	245,820	2,880	22,960	32,520			35,500	
事務消耗費	267,000	234,876	32,124	87.97%		14,862	67,448	17,847	88,678	2,879	25,709	17,453			0	
交通宿泊費	524,000	476,630	47,370	90.96%		156,680	13,600	0	93,700	0	154,050	0			58,600	
謝礼等	620,000	481,230	138,770	77.62%		0	0	0	301,230	0	40,000	140,000			0	
印刷費	296,000	129,128	166,872	43.62%		21,500	33,975	49,243	16,240	3,010	380	4,780			0	
会議費	201,000	166,440	34,560	82.81%		0	113,940	46,200	6,300	0	0	0			0	
雑費	465,000	676,023	-211,023	145.38%		91,943	277,056	7,000	242,148	0	57,484	300			92	
	4,169,980	3,793,090	376,890	90.96%		511,235	1,098,852	590,290	994,116	8,769	300,583	195,053			94,192	
事業予備費	380,000	0	380,000	0.00%	50万-12万(ファン活)											
事業費計	26,108,254	22,223,959	3,884,295	85.12%		1,146,202	2,974,570	1,341,862	1,909,476	359,698	888,493	377,014	220,498	1,427,195	9,767,253	1,811,698
2 管理費					事務局	WEB	NL	F白書	広報PJ	詳細						
登録料等																
広報費	1,545,000	416,812	1,128,188	26.98%	115,430	301,382				事務局：パンフ・プレスリリース他、WEB：サーバ・ドメイン料						
交通宿泊費	4,130,000	5,669,837	-1,539,837	137.28%	5,134,863	122,450	412,524			事務局：理事会4,581,986、明日会212,107、拡大理事会(2回)340,774						
謝礼等	22,000	0	22,000	0.00%												
会議費	250,000	157,672	92,328	63.07%	150,112		7,560			事務局：理事会合宿経費122,360、会場費他						
事務消耗品費	40,000	74,080	-34,080	185.20%	74,080					封筒48,552、名刺25,776他						
諸会費	40,000	40,000	0	100.00%	40,000					日本NPOセンター1万、シーズ3万						
雑費	980,000	959,028	20,972	97.86%	106,747	82	852,199			NL：4号(46～49号)発送経費						
資料印刷費	1,400,000	1,130,031	269,969	80.72%	110,098		1,019,933			事務局：郵便払込票印刷ほか、NL：4号(46～49号)制作・印刷経費						
総会関係費用	510,000	664,085	-154,085	130.21%	664,085											
外部委託料	1,047,000	1,098,714	-51,714	104.94%	890,400			208,314		事務局：事務48万・会計税務259,200・決算151,200						
支払手数料	250,000	313,771	-63,771	125.51%	313,771					振込手数料267,115・EB利用料46,656						
賃貸料	845,000	858,540	-13,540	101.60%	858,540					家賃648,000・倉庫(中部・関西・広島計210,132)						
租税公課	170,000	297,900	-127,900	175.24%	297,900					法人税均等割7万・消費税195,800・商標移転3万他						
システム費																
予備費																
管理費計	11,229,000	11,680,470	-127,900	104.02%	8,756,026	423,914	2,292,216	208,314	0							
当期支出合計	37,337,254	33,904,429	3,756,395	90.81%												
III その他資金収入の部																
その他資金収入合計		19,700	-19,700													
その他資金支出合計																
当期収支差額	-2,623,004	1,799,419	-4,745,993	-68.6%												

平成27年3月31日現在

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会

科目・摘要		金額（単位：円）		
Ⅰ 資産の部				
1 流動資産				
現金		0		
普通預金	三菱東京UFJ銀行(経費)	1,797,709		
普通預金	三菱東京UFJ銀行(継続会費)	1,720,486		
普通預金	三菱東京UFJ銀行(新規会費)	2,042,575		
普通預金	三井住友銀行	1,848,832		
普通預金	三井住友銀行	1,758,438		
普通預金	三井住友銀行	921,221		
当座預金	ゆうちょ銀行	18,337,528		
前渡金		3,284,416		
前払費用		43,560		
未収入金		546,322		
流動資産合計			32,301,087	
2 固定資産				
固定資産合計		0		
減価償却累計額		0		0
3 投資その他の資産				
差入保証金				
投資その他の資産合計		27,000	27,000	
資産合計				32,328,087
Ⅱ 負債の部				
1 流動負債				
未払金		2,976,843		
前受金		1,984,000		
仮受金		0		
預り金		269,800		
流動負債合計			5,230,643	
2 固定負債				
固定負債合計			0	
負債合計				5,230,643
Ⅲ 正味財産の部				
前期繰越正味財産			25,298,025	
当期正味財産増加額			1,799,419	
正味財産合計				27,097,444
負債及び正味財産合計				32,328,087

平成26年度「その他の事業」会計収支報告書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会

科 目	金 額 (単位:円)		
(資金収支の部)			
I 経常収入の部			
1 会費・入会金収入			
個人会費	0		
法人会費	0	0	
2 事業収入			
物品の斡旋及び販売	0		
役務の提供	0	0	
3 寄付金収入			
個人寄付金	0		
法人寄付金	0	0	
経常収入合計			0
II 経常支出の部			
1 事業費			
物品の斡旋及び販売	0		
役務の提供	0	0	
2 管理費			
管理料等	0		
交通費	0		
事務消耗品	0		
通信費	0	0	
経常支出合計			0
経常収支差額			0
III その他資金収入の部			
その他資金収入合計			0
IV その他資金支出の部			
その他資金支出合計			0
当期収支差額			0
前期繰越収支差額			0
次期繰越収支差額			0

平成26年度「その他の事業」会計貸借対照表

平成27年3月31日現在

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会

科目・摘要		金額（単位：円）		
I 資産の部	1 流動資産			
	現金	0		
	普通預金	0		
	流動資産合計		0	
	2 固定資産			
	固定資産合計		0	
	資産合計			0
II 負債の部	1 流動負債			
	前受金	0		
	流動負債合計		0	
	2 固定負債			
	固定負債合計		0	
	負債合計			0
III 正味財産の部	前期繰越正味財産		0	
	当期正味財産増加額		0	
	正味財産合計			0
	負債及び正味財産合計			0

平成26年度会計財産目録

平成27年3月31日現在

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会

科目・摘要	金額（単位:円）	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
現金 現金手許有高	0	
普通預金 三菱東京UFJ銀行西新宿支店	1,797,709	
普通預金 三菱東京UFJ銀行西新宿支店	1,720,486	
普通預金 三菱東京UFJ銀行西新宿支店	2,042,575	
普通預金 三井住友銀行渋谷支店	1,848,832	
普通預金 三井住友銀行渋谷支店	1,758,438	
普通預金 三井住友銀行渋谷支店	921,221	
当座預金 ゆうちょ銀行〇一丸店	18,337,528	
前渡金 平成26年度会場代	3,284,416	
前払費用 平成26年度経費	43,560	
未収入金	546,322	
流動資産合計		32,301,087
	0	
2 固定資産		
固定資産	0	
固定資産合計		0
3 投資その他の資産		
差入保証金 レンタルスペース	27,000	
		27,000
資産合計		32,328,087
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	2,976,843	
前受金 平成27年度会費他	1,984,000	
預り金 講師謝礼源泉所得税	269,800	
流動負債合計		5,230,643
2 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		5,230,643
正味財産		27,097,444

平成 26 年度の事業報告書ならびに貸借対照表、活動計算書、財産目録を提出いたします。

平成 27 年 4 月 12 日

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会
会 長 平井 雅 殿



監査報告書

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会
会 長 平井 雅 殿

特定非営利活動促進法第 18 条の規定に基づき、平成 26 年度（平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで）の特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会の業務および財産の状況について監査を実施いたしました。

業務については月次の理事会に出席したほか、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討しました。また財産の状況については証拠書類の閲覧、照合、質問等の合理的な保障を得るための手続きを行いました。

監査の結果、法人の業務の執行に関しては法令及び定款に違反する重大な事実はなく、平成 26 年度の特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会の財産の状況は適正なものと認められます。

平成 27 年 4 月 12 日

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会

監 事

平山 猛



監 事

中西百合



平成27年度事業計画書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会

事業計画のポイント

平成27年度のFAJは、「掛け合わせ」をキーワードとして以下の2点を重点的に取り組みます。

- ・「各分野×ファシリテーション」の掛け合わせで実践者ネットワークを強化します。
 - ・地域拠点や委員会活動の効果的な掛け合わせで新たな共創にチャレンジします。
-

日本ファシリテーション協会(FAJ)は、ファシリテーションの普及を通して自律・分散・協働型の社会を目指すNPOです。多くの会員が、FAJの活動を通してファシリテーションを学び、ビジネスや行政、コミュニティ、教育、医療、福祉などさまざまな分野で活用し、それぞれの現場で課題に立ち向かって試行錯誤しています。日本各地でファシリテーションの活用事例が増え、認知度が高まるにつれ、以前にも増して実質的な成果が問われるようになってきています。

■「各分野×ファシリテーション」の掛け合わせで実践者ネットワークを強化

ファシリテーションが活用される分野は多岐にわたっています。そして、それぞれの分野ごとに背景や抱える課題、目指す姿は違い、手法としてのファシリテーションのアプローチもまた異なります。そこで、より実践的なアプローチを実現するために、今年度は分野を中心としたつながりを強化していきます。

具体的には、現場で課題解決にあたっている会員外の方とのつながりも含め、FAJの全国の仲間の分野ごとのつながりを一層強めます。1,800名近い会員を擁し、各地に拠点が誕生している私たちFAJの強みは、全国に広がる会員同士のネットワークです。このネットワークを活かし、つながりを強め、相互の事例などを共有しながらファシリテーションの質を高め合えるような場づくり・仕組みづくりを行うとともに、それぞれの分野での具体的な課題を解決できるよう機会を創出していきます。この活動により、現場に立つファシリテーターがさらに増えていくと考えます。その際、例えば教育といった重点分野を設定してリソースを傾注するなどして、現場での成果を加速させます。

■地域拠点や委員会活動の効果的な掛け合わせで新たな共創にチャレンジ

FAJが12年目を迎え、ファシリテーションが一定の普及を果たしつつある昨今、各地域拠点・委員会の活動範囲が広がり、求められる役割も多様化してきています。こうした中、地域や活動範囲の枠を超えたニーズに応えるため、今年度は、地域拠点や委員会相互がさまざまな掛け合わせで多角的にコラボレーションすることで新たな共創を生み出すチャレンジをします。例えば、ファシリテーション活用支援プログラム委員会(ファシ活)や災害復興支援室の機能再編、地域拠点の役割を整理し、新しい普及活動の試行、組織全体としての広報戦略の検討などを行います。このため、「調査・研究」「教育・普及」「支援・助言」「交流・親睦」の4事業の枠組みにとらわれず、FAJ活動の相乗効果が発揮できるよう、予算案に工夫を加えました。

■組織運営の強化

FAJは、法人としての規模拡大に伴い、より大きな社会的責任を自覚し、組織運営の一層の強化と透明化を図る必要があります。今年度も、ファシリテーションにまつわる社会ニーズの変化に対応するため、組織内外の知見を集めて組織運営を検討する機会を積極的に設けます。

以下、重点的に取り組む内容を事業別に記します(括弧内は担当組織を表します)。

1 ファシリテーション技術の確立や新しい技術の開発を目指す調査・研究事業

調査・研究事業では、FAJ 内外の連携を深め、実践力の相互研鑽の場をつくっていきます。

1) 実践力の相互研鑽の場作りの推進(理事会、各支部運営委員、プロジェクト)

- 定例会、例会やプロジェクト等において、内外のファシリテーション実践者が集って、ファシリテーションに関する可能性や変革の方策を探究する場をつくります。
- 現場で活躍するファシリテーターを養成し能力向上をはかるために、前年度に立ち上げた会員有志との実践支援検討会の活動を継続します。さらに実践の一步を踏み出したり、パフォーマンスを向上させたい会員が相互支援・研鑽する仕組みを考えます。

2) ファシリテーションの本質を研究(シンポジウム実行委員会)

- シンポジウムを研究発表の場として、ファシリテーションの知見を会員の間で共有し、深めていきます。
- シンポジウムを通じて各自が自分のファシリテーションの持ち味を知り、成長の手がかりとするためのF力測定を継続します。

2 ファシリテーター養成や実践方法の普及を目指す教育・普及事業

教育・普及事業では、これまで提供してきた公開セミナーを継続強化するとともに、対象を特化した公開セミナーの検討や新たな普及イベントを開催します。

1) 従来の公開セミナーの継続強化(公開セミナー委員会)

- ファシリテーションの普及のため全国各地で公開セミナーを引き続き開催します。
- 提供するセミナーの質の強化を図るため、講師のレベルアップを推進するとともに、セミナーコンテンツの改良も引き続き実施します。
- 全国各地の公開セミナーを継続的に開催していくため、「全国セミナー委員代表者会議(仮称)」を開催し、運営の効率化・運営体制の見直しを行います。

2) 公開セミナーの新たな展開の検討(理事会・公開セミナー委員会)

- より実践者に向けてファシリテーションを届けるために、公開セミナーの内容を変更し、特定領域・分野別に提供することを検討します。

3) 新しいファシリテーション普及イベント(オープン FAJ(仮称))の開催(理事会)

- 新しいファシリテーション普及の方法として、全国に広がる多様な会員の実践や会員同士のネットワークによる活動を一定期間一斉に展開し、FAJ 内外に発信するイベントを会員とともに開催します。

3 各種団体におけるファシリテーションの活用をサポートする支援・助言事業

支援・助言事業では、社会からの強い期待と要請に引き続き応えると同時に、円卓会議2の提言を受けて、新しい部門を立ち上げる準備を進めます。

1) 社会からの要請に対する継続的な支援(ファシリテーション活用支援プログラム委員会)

- ファシ活は、依頼者のニーズを踏まえ、関係者間のコーディネートを重視して、実施します。

2) 災害復興支援活動・減災に向けた活動の継続(災害復興支援室)

- これまでの活動で繋がりを育んできた団体を中心に、現地支援・連携支援等を継続します。
- 4年に渡って災害復興支援室で培ってきた知恵を、広く世の中に伝えていきます。

3) 新しい部門設置についての検討・準備(理事会、準備室)

- 現場や社会の多様化するニーズに、丁寧かつ柔軟に応えるための新しい部門を 2016 年度から開設するための準備室を立ち上げます。

4 ファシリテーターや関連団体間の親睦を図る交流・親睦事業

交流・親睦事業では各種イベントや関連団体との交流を通じて、FAJ の内外のつながりをさらに深めます。

- 1) **地域イベントを開催**(各支部運営委員会、地域イベント実行委員会)
 - FAJ 内外とのつながりを深め広げるために、北海道・東京・中部・関西・中国・九州各支部・東北スクエアで地域イベントを開催します。
- 2) **他団体との連携強化**(理事会、各支部運営委員会、グローバルファシリテーション推進委員会、本部事務局)
 - 引き続き、各分野で活動しているファシリテーションと関わりのある外部団体とのコラボレーションを進めます。
 - ワールドカフェ 20 周年を記念して開催されるイベントを IAF ジャパンと共催します。
 - グローバル化や多文化共生のニーズに応えるため、各支部と協力して英語での定例会を開催する他、海外のファシリテーターを招聘しての定例会を実施します。

5 広報・コミュニケーション活動

FAJ が保有する知見や情報、会員の実践事例を様々な方法で発信し、さらに社会に役立つよう広報・コミュニケーションの強化を図ります。

- 1) **広報プロジェクトによるウェブコンテンツの強化検討**(理事会、広報プロジェクト)
 - FAJ の外部に向け、ファシリテーションの知見や実践事例など、よりファシリテーション普及を加速するコンテンツを検討・追加します。
 - これまで蓄積してきたウェブサイトのコンテンツを活用しやすくなるよう再編・更新します。
- 2) **新しいファシリテーション普及イベント(オープン FAJ(仮称))の発信**(理事会、ウェブ編集委員会)
 - 今年度開催する新しいファシリテーション普及イベントと連携し、FAJ 内外に向けて発信します。
- 3) **ファシリテーションの実践に役立つ情報の提供**(理事会、ニューズレター委員会)
 - 「ファシリテーション白書 2014」の内容を踏まえ、FAJ 内外及びグローバル分野などにおけるファシリテーションの実践事例の成果と効果をまとめた「ファシリテーション白書 2015」の発行を行います。
 - 委員による取材を増やし、会員以外の方が読んでもわかり易い記事を増やし、広報としての利用も可能な方向に進めていきます。

6 ミッションおよび組織運営に関わる活動

「各分野×ファシリテーション」の推進や、第 2 次中期ビジョンにあたるビジョン 2020 の策定など、会員一人ひとりがミッション実現に向けて取り組みやすい環境を引き続きつくります。

- 1) **「各分野×ファシリテーション」の推進**(理事会、プロジェクト)
 - 幅広い背景を持つ会員を擁する FAJ の強みをより生かすため、又より実践的であるために、拠点にとらわれず、ファシリテーションをキーワードに分野ごと(例えば行政、教育など)につながった場をつくります。
- 2) **中期ビジョン 2020 の策定**(理事会)
 - まず理事会として下記の 4 つによる中期ビジョン 2020 案を作成し、それを元に会員有志の意見を反映する機会を設けた上で、新しい中期ビジョン(2015 年～2020 年)を策定する。

【中期ビジョン 2020 のキーワードと方向性】

- ①ファシリテーションが、あらゆる地域・分野の現場で、その存在を知られ活用されていることに関するビジョン
- ②ファシリテーターとして、FAJ 会員が自覚と責任を持ち、自分の現場で実践的に活動していることに関するビジョン
- ③社会において、多様な人々が協働し合うことに関するビジョン
- ④FAJ が、ファシリテーションとファシリテーターに関するプラットフォームとして存在し、あらゆる

ネットワークをつなぐハブとしての役割を果たすことに関するビジョン

3) 運営体制の拡充・強化と最適な運営方法の検討(理事会、本部事務局)

- 地域拠点の現状を踏まえ、支部・スクエア・サロンの役割について整理します。
- 現場で実践する人の拡大に向けて、組織運営を円滑にするための体制を引き続き検討します。
- 退会者分析を行い、組織の改善に活かします。
- 財源確保のため、会費収入や事業収益のほか、寄附金や助成金等について検討します。

4) 各種制度改正への対応(理事会、本部事務局)

- 協会としての活動を維持・向上させるために、NPO 法人に関連する各種の制度改正への対応を行います。

ミッション

ファシリテーションの普及を通じて、ビジネス分野においては、生産性・モチベーション・リーダーシップ力を向上させ、社会的な分野では、市民活動・地域経営・国際交流の質を高め、教育の分野では、多面的な視点を持つ人材を育成していくことをめざしています。

ビギナーからプロフェッショナルまで、ビジネス・まちづくり・NPO・教育・環境・医療・福祉など、多彩な分野で活躍するファシリテーターが集まり、多様な人々が協働しあう自律分散型社会の発展をめざして、幅広い活動を展開していきます。

以下、計画の詳細について記載します。

【A】特定非営利活動にかかる事業

1. 調査・研究事業

事業内容	実施日時	実施場所	従業者	受益対象者
ファシリテーション・シンポジウム	5月30日 5月31日	東京	60名	会員350名
北海道支部 定例会	通年 (11回)	北海道	55名 (5名×11回)	会員275名、一般33名 (会員25名＋一般3名)×11回
東京支部 定例会	通年 (11回)	東京・神奈川・千葉・埼玉・群馬等	330名 (30名×11回)	会員1210名、一般110名 (会員110名＋一般10名)×11回
中部支部 定例会	通年 (11回)	愛知	55名 (5名×11回)	会員440名、一般77名 (会員40名＋一般7名)×11回
関西支部 定例会	通年 (11回)	大阪・京都・兵庫	88名 (8名×11回)	会員605名、一般66名 (会員55名＋一般6名)×11回
中国支部 定例会	通年 (11回)	広島	33名 (3名×11回)	会員132名、一般33名 (会員12名＋一般3名)×11回
九州支部 定例会	通年 (11回)	福岡	33名 (3名×11回)	会員330名、一般55名 (会員30名＋一般5名)×11回
東北スクエア 例会	通年 (11回)	宮城	33名 (3名×11回)	会員110名、一般66名 (会員10名＋一般6名)×11回
ファシリテーション 演劇プロジェクト	—	—	—	—
アートファシリテーション プロジェクト	—	—	—	—

TOC×ファシリテーションプロジェクト	—	—	—	—
地域行政×ファシリテーションプロジェクト	—	—	—	—
サロンサポート	—	8カ所	—	—

2. 教育・普及事業

事業内容	実施日時	実施場所	従業者	受益対象者
公開セミナー	通年 (40クラス)	東京・大阪・愛知 ・広島・福岡等	200名 (5名×40クラス)	会員320名、一般480名 (会員8名＋一般12名)×40クラス
事業検討	未定	—	—	—

3. 支援・助言事業

事業内容	実施日時	実施場所	従業者	受益対象者
ファシリテーション活用支援プログラム	通年 (15回)	全国	75名 (5名×15回)	一般600名 (一般40名×15回)
災害復興支援室	随時	—	—	—
準備室	未定	—	—	—

4. 交流・親睦事業

事業内容	実施日時	実施場所	従業者	受益対象者
グローバルファシリテーション推進委員会	10月	東京他	20名	不特定多数
地域イベント	4月	福山	3名	会員5名、一般20名
	11月	愛知	10名	会員80名、一般20名
	12月	福岡	10名	会員80名、一般20名
	3月	東京	40名	会員100名、一般100名
	未定	札幌	—	—
	未定	仙台	—	—
	未定	大阪	—	—

5. その他の総合的な事業

事業内容	実施日時	実施場所	従業者	受益対象者
ニュースレター	4回	全国	32名 (8名×4回)	会員1,800名
ウェブサイト	通年	全国	20名	不特定多数
メーリングリスト等	通年	全国	20名	会員1,800名
広報プロジェクト	8回	全国	11名	不特定多数

【B】その他の事業

実施しません。

平成27年度「特定非営利活動に係る事業」活動予算書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会

科 目	H27年度予算	予算内訳											
		事務局	北海道	東京	中部	関西	中国	九州	東北	サロン	シンポジウム	セミナー	復興支援
I 収入の部													
1 会費収入													
個人会費収入	18,000,000	18,000,000											
法人会費収入	300,000	300,000											
	18,300,000												
2 事業収入													
調査・研究事業収入	2,387,500								112,500		2,275,000		
教育・普及事業収入	13,360,000											13,360,000	
支援・助言事業収入	600,000												600,000
交流・親睦事業収入	2,432,600		377,500	650,000	360,100	500,000	150,000	265,000	130,000				
	18,780,100												
3 寄付金収入													
個人寄付金													
法人寄付金													
	0												
収入合計	37,080,100	18,300,000	377,500	650,000	360,100	500,000	150,000	265,000	242,500		2,275,000	13,360,000	600,000
II 支出の部													
1 事業費													
調査・研究事業支出			北海道	東京	中部	関西	中国	九州	東北	サロン	シンポジウム	プロジェクト	実践PJ
会場使用料	6,164,220		132,000	1,250,000	243,000	425,000	231,000	445,000	150,000	80,000	3,208,220		
事務消耗品費	482,000		20,000	160,000	11,000	60,000	48,000	65,000	15,000	8,000	95,000		
交通宿泊費	2,380,000		395,000	350,000	319,000	205,000	230,000	280,000	46,000	255,000	0		300,000
謝礼等	961,167		100,000	200,000	278,425	222,742	50,000	110,000	0	会場使用 (各1万)	0		
印刷費	561,000		10,000	60,000	20,000	25,000	15,000	11,000	4,500	事務消耗品 (各0.1万)	415,500		
会議費	635,000		10,000	300,000	40,000	42,000	100,000	93,000	30,000	交通宿泊 (各3万、沖4.5万)	20,000		
雑費	797,000		0	20,000	5,000	32,000	10,000	5,000	15,000		710,000		
予備費											0	(各3万)	
研究開発費	240,000											240,000	
	12,220,387		667,000	2,340,000	916,425	1,011,742	684,000	1,009,000	260,500	343,000	4,448,720	240,000	300,000
教育・普及事業支出												セミナー	
会場使用料	1,945,000											1,945,000	
事務消耗品費	165,000											165,000	
交通宿泊費	2,521,000											2,521,000	
謝礼等	4,454,000											4,454,000	
印刷費	600,000											600,000	
会議費	276,000											276,000	
雑費	65,000											65,000	
研究開発費													
	10,026,000										0	10,026,000	
支援・助言事業支出												ファシ活	復興支援
会場使用料	20,000												20,000
事務消耗品費	10,000												10,000
交通宿泊費	2,070,000										400,000	420,000	1,250,000
謝礼等	60,000												60,000
印刷費	200,000												200,000
会議費	51,000										6,000	15,000	30,000
雑費	30,000												30,000
	2,441,000												
交流・親睦事業支出			北海道	東京	中部	関西	中国	九州	東北		406,000	435,000	1,600,000
会場使用料	2,001,040		230,000	700,000	470,000	300,000	84,000	122,040	95,000			GFPC	
事務消耗品費	245,000		20,000	60,000	50,000	35,000	40,000	20,000	20,000				
交通宿泊費	685,000		110,000	50,000	60,000	120,000	60,000	80,000	25,000			180,000	
謝礼等	881,370		100,000	100,000	111,370	200,000	50,000	110,000	50,000			160,000	
印刷費	296,000		45,000	50,000	50,000	80,000	41,000	20,000	10,000				
会議費	233,000		10,000	100,000	50,000	50,000	5,000	18,000					
雑費	570,000		90,000	230,000	10,000	5,000	10,000	5,000	20,000			200,000	
外部委託料													
	4,911,410		605,000	1,290,000	801,370	790,000	290,000	375,040	220,000			540,000	
事業予備費	1,000,000	1,000,000											
事業費計	30,598,797	1,000,000	1,272,000	3,630,000	1,717,795	1,801,742	974,000	1,384,040	480,500	343,000	4,854,720	11,241,000	1,900,000
2 管理費		事務局	WEB	NL	広報PJ	GFPC	詳細						
登録料等							パンフ印刷、サーバー維持管理、プレスリリース他 理事会300万(1回30万)、拡大理事会40万(1回20万)、事務局10万、各種委員 役員合宿16万他 名刺代、書庫(3台)10万、プロジェクト(1台)5万 郵便1.2万、電話1.6万 シーズ3万、日本NPOセンター1万 NL発送経費他 封筒7.2万、NL印刷 会場費・備品・資料代・通信費 事務48万(月4万)、会計税務25.2万(月2.1万)、決算13万、法務10万、決済サービス利用(振込手数料20万、EB使用料5万(2.5万×2)、会費払込手数料20.2万 家賃63万(5.25万×12月)、倉庫28.6万(中部、関西、中国)他 法人税均等割7万、消費税14万(8%)						
広報費	433,000	200,000	53,000		150,000	30,000							
交通宿泊費	4,750,000	3,500,000	450,000	450,000	250,000	100,000							
謝礼等	22,000			22,000									
会議費	210,000	160,000	30,000	20,000									
事務消耗品費	220,000	220,000											
通信運搬費	28,000	28,000											
諸会費	40,000	40,000											
雑費	810,000	10,000		800,000									
資料印刷費	1,209,500	72,000		1,137,500									
総会関係費用	600,000	600,000											
外部委託料	1,622,000	1,592,000				30,000							
支払手数料	452,000	452,000											
賃料	964,800	964,800											
減価償却費													
租税公課等	210,000	210,000											
システム費													
管理費計	11,571,300	8,048,800	533,000	2,429,500	400,000	160,000							
支出合計	42,170,097												
当期収支差額	-5,089,997												
前期繰越収支差額	27,097,444												
次期繰越収支差額	22,007,447												

＜第3号議案＞ 平成27年度役員の選任について

(普通決議:総会に出席した正会員の過半数による議決)

1. 平成27年度の理事候補者 (敬称略、50音順)

再任 荒金 雅子

再任 飯島 邦子

再任 酒井 麻里

再任 杉村 郁雄

再任 鳥羽 秀人

再任 野口 和裕

再任 疋田 恵子

再任 平井 雅

新任 明石 克巳

新任 加藤貴美子

2. 平成27年度の監事候補者 (敬称略、50音順)

再任 平山 猛

新任 池田 隆年

以上

